

有機精製ココナツオイルの優位性はどのようなものでしょうか。

①心臓の健康を支えます。中鎖脂肪酸トリグリセリド(MCT)のような健康な油脂を含み、コレステロール値を改善し、循環器を健康にします。

↑ナヒゲーター

②料理に理想的。高い発煙点とくせのない香りで、料理用の優れた選択肢となつており、高温でも変質しません。③スキンケアとヘアケアに。保湿作用があり、精製されることで、敏感肌にも適切であり、多様な化粧品関連に応用されます。

日本への期待 世界各地から

133

有望なココナツオイル市場と政府の支援

④体重管理に。ココナツオイルに含まれるMCTはエネルギー増幅作用があり、他の種類の油脂とは異なる方法で代謝されるため、体重制限に効果があるといえます。

⑤消化促進。腸の健康を支え、抗菌性を持つ自然成分を含んでいます。

ココナツオイルの市場規模を各種データから調べてみます。世界市場は2023年で52億ドルとされています。24年は55億ドル、32年には86億ドルまで成長すると見込まれ、この期間の年当り平均成長率は

スリランカより(中)

5.6%となります。市場の成長をけん引する主な要素は、健康面への関心の高まりやパ

ーソナルケア、化粧品、化学・食品産業での利用増加です。市場成長の可能性を検討するために、複数の側面から32

年までの市場予測を行った各種報告書を参照しています。ココナツオイルの種類(精製したもの・していないもの)、エンドユーザー(産業

①農業システムにおける高い効率と生産性。農業従事者がこれまでに実績のない地域でココナツ、ゴム、シナモンのような商品作物の栽培を体系的に行えるよう指導する

資材・食品)、地域(北米・欧州・アジア太平洋・それ以外)などです。

これらを検討した結果、以下の中東では、サウジアラビア、

下のそれぞれの地域について、精製ココナツオイルの輸出先として理想的な国々が特定できました。アメリカ大陸では米国、カナダ。米国は、取扱量と成長率の両方で絶対的な役割を果たし続けます。

②強力な農業起業家を育成し、市場を継続的に確保。中小規模の農産物輸出業者に技術的、財政的な便宜を供与し、市場参加の機会を提供すること。

年までの市場予測を行った各種報告書を参照しています。

ヨーロッパではドイツ、フランス、英国。欧州諸国を合わせた、総体的に輸入量で大きな割合を占めることになり

美しい生活」の中で、とくにココナツ栽培と関連産業の拡大について焦点が当たっている箇所があります。3章

③農業生産者の強化。間作および、茶・ゴム・ココナツなど多年草作物の多様化のための技術的、財政的な便宜を供与すること。

ココナツオイルの種類(精製したもの・していないもの)、エンドユーザー(産業

食料安全保障が確立された国」と題して、以下の項目が含まれています。

【ラジタ・プラサド、リーム中産連】

(月曜日に掲載)